

音楽科授業改善推進プラン

学年	児童の実態	改善プラン	改善プランの評価方法
3年	①前向きに授業に取り組んでいる。個別指導を必要とする児童もいる。 ②リコーダーに興味をもち、意欲的に取り組む児童が多い。タンギングが身に付いていない児童が少なからずいる。 ③器楽合奏を楽しみ、難しい課題にも積極的に挑戦する姿が見られる。	①意欲が持続するよう授業展開を工夫する。個別の声掛けを丁寧に行う。 ②個別指導の時間を取り、音の出し方を丁寧に指導する。簡単に練習できる教材を提示し、家庭でも取り組めるようにする。 ③児童の様子を見ながら、自ら選択できる課題を提示し、一人一人に達成感を味わわせるようにする。	①授業の様子で評価する。 ②課題への取組で評価する。また、個別指導の際にも評価する。 ③授業の様子や個別指導の際に評価する。
4年	① 前向きに授業に取り組む児童が多い。落ち着いて授業に参加している。 ②リコーダーに興味をもち、意欲的に取り組む児童が多い。タンギング等もほとんどの児童が身に付いている。 ③音楽づくりや器楽の学習では、グループで協力し、表したい音楽を工夫して表現しようとする姿が多く見られる。	①主体的に取り組めるよう、個別の声掛けを丁寧に行ったり、見通しをもって活動できるような工夫を行ったりする。 ②できるようになったことをたくさん褒め、意欲が持続するようにする。技能が身に付いていない児童には、個別指導をし、定着を図るようにする。 ③課題の提示の仕方や発問を精選し、児童が音楽の要素と関連付けながら、さらに工夫することができるようにする。	①授業の様子で評価する。 ②授業の様子や個別指導の際に評価する。 ③授業の様子、発表の様子で評価する。個別指導の際の様子や振り返りのプリント等でも評価する。
5年	①意欲的に取り組む児童が多く、表現することを楽しんでいる。 ②リコーダーの学習に意欲的に取り組んでいる。タンギングやサミング等技能が身に付いていない児童もいる。 ③鑑賞の授業では、聴き取ったことや感じ取ったことを自分の言葉で表現できる児童と、表現するのが難しい児童がいる。	①さらに表現すること楽しめるよう、発表の場を多く設定する。自信をもって活動できるよう、個別指導の時間も確保する。 ②基礎的な技能を確かめる時間を確保し、何度も繰り返すことで定着させる。技能が身に付いていない児童には、個別指導をし、定着を図るようにする。 ③音楽を表現する語彙を例示したり、他の児童の表現を紹介したりすることで、多様な表現の仕方を学べるようにするなど授業展開を工夫する	①授業の様子、発表の様子、個別指導の際の様子や振り返りのプリント等でも評価する。 ②授業の様子や個別指導の際に評価する。 ③ワークシートや発言で評価する。
6年	①意欲的に取り組む児童が多く、落ち着いて授業に参加している。 ②器楽演奏を好む児童が多い。友達と意欲的に取り組むことができる。 ③鑑賞の授業では、聴き取ったことや感じ取ったことを積極的に発言する児童が多く、理解を深めている。	①さらに意欲が高まるよう、発表の場を多く設定したり、授業展開を工夫したりする。 ②児童の様子を見ながら、自ら選択できる課題を提示し、一人一人に達成感を味わわせるようにする。音を合わせて演奏することの楽しさを味わわせるために、発表の機会を設定する。 ③。更に理解が深まるよう、互いの考えを交流する時間を設けるなど授業展開をさらに工夫する。	①授業の様子、発表の様子で評価する。 ②一人で演奏する時間を設け、タンギングや運指が正しくできているか丁寧に確認する。個別指導で評価する。 ③学級全体で評価するとともに、ワークシートなどで評価する。